



江戸川ウォーク 今年も開催 新たな友達の輪



2015年4月30日木曜日、江戸川ウォークが開催された。参加した新1年生は508人。基礎ゼミごとに野田市にある東武アーバンパークライン川間駅から約3キロ江戸川の河川敷を歩き、同市の清水公園でバーベキューをした。(取材：文・谷澤光知子 撮影：文・池村美咲・松本宝佳)

天候にも恵まれ少し汗 歩きやすくなっていた。ばむような暑さだったが、はじめは、シーンとして川辺に出ると陽が陰り、いた学生たちが周囲の人と

少しずつ話を始めた。仲の良い友達と歩く人、一人で歩く人、基礎ゼミの先生と仲良く話す人。学生たちは自由に話をしながら、ウォーキングをしている。私たちが取材班がカメラを向けると、ピースをしつ

おにぎりになった。今年は、焼き肉のタレやボン酢をもってきたゼミや、チーズフォンデュを作っていたゼミもあり、目を引いた。食材を焼いている間や食事中は、ゼミの間で談笑する姿が多く見られた。他のゼミと食材を交換したり、会話を楽しんだりもした。江戸川ウォークは歩くだけで、元から親しい仲間だけと一緒にありがた。しかし、バーベキューとなる。食材の焼き加減や取り分けなど協力しあわなければいけない。自然とコミュニケーションをとるようになる。すると、仲間意識が生まれてくる。取材をしていて、気づいたことがある。マス・コミユニケーション学科、経営社会学科などは、ワイワイと盛り上がりつつ、人間的心理学、こどもコミュニケーション学科は、静かに肉を焼きながら、隣同士で盛り上がりつつ、学科ごとに雰囲気があった違うのだ。



ツツジの花が咲き、木漏れ日がキラキラと輝いている清水公園に着くと、さつそく、基礎ゼミごとに火おこしを始めた。すんなりと火が付き、ソーセージ、豚肉、ナス、ホタテなどの食材を焼いていく。締めは昨年までは鉄板で焼きそばを焼いていたが、今年は網に変わり焼き

バーベキューが終わった後も、ゼミ生同士でカラオケに行く話をしたり、他のゼミの人たちと公園を散策するなど盛り上がり、熱は冷めなかった。新しい友達の輪ができ、幸先の良い大学生活がスタートした。



先生とも距離が縮まった1日 個性豊かなエピソード

の行動で、学生たちは先生の新たな一面を発見したのだ。

ある先生は取材班がカメラを向けるたびに怒ったような変顔をしたり、ある先生は「サボりたい」とグチをゼミ生にもらしたり。また、バーベキューでは、ゼミ

江戸川ウォークでは、学生同士の仲が深まっただけでなく、学生と先生の距離も縮まった。基礎ゼミごとに

そんな先生の姿を見て、入学当初より距離が縮まり、身近な存在に感じることができた。

学生記者募集!

学生記者クラブは、学内外のイベントや、部活動、サークル活動などを取材します。

記事は「江戸川大学学生新聞」として発行するだけでなく、ウェブにもアップして世界に向けて発信していくプロジェクトです。

「Journalism」とは「発見や感動を相手に伝えること」。あなたもジャーナリストになろう!

N棟1階の受付にお気軽に声をかけてください。連絡先：TEL(04-7152-9908)E-mail(kouhou@edogawa-u.ac.jp) 広報課